

あいさつ

福島県中学校教育研究会
保健体育部長 佐藤 力夫

はじめに、今年度の研究推進にあたりましては、充実した活動ができましたことに、各支部保健体育部長様と各会員のみなさまに、心より感謝を申し上げます。

さて、保健体育部では、昨年度より研究主題「体育や保健の見方・考え方を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む指導はどうすればよいか。」を掲げ、その2年次にあたる今年度は、「運動課題の解決を目指す協働的な学習活動の工夫と学習評価の改善」（体育分野）を副主題として研究に取り組んできました。

各支部においては、学校や地域、生徒の実態等を考慮し、生涯にわたる健康の保持増進や豊かなスポーツライフの実現の視点から、指導内容をより一層明確に吟味し、その内容を確実に身に付けさせるため、県主題研修会を受け、主題研修会報告会、研究実践、研究協議会での実践発表と協議等、計画的に研究を推進していただきました。

次に、今年度の福島県中学校教育研究協議会いわき大会（保健体育部会）は、いわき市立玉川中学校において4年ぶりに現地参集型での開催となりました。当日は、玉川中学校 平松 大夢 先生に授業を提供していただき、県内各支部代表の正会員の先生方といわき地区の先生方に授業の参観とその後の研究協議に臨んでいただきました。

研究協議①では、代表支部による副主題に迫るために行った研究実践の発表と、それに基づく質疑応答・協議が行われ、各支部の創意工夫が見られた実践例や貴重な資料について情報共有がなさ

れました。研究協議②では、公開授業についての協議が行われ、授業者の意図や工夫点の説明、質疑応答、その後、今年度の研究内容「ア」「イ」「ウ」ごとに3つの分科会で活発な意見交換が行われ、深まりのある協議が展開されました。限られた時間ではありましたが、充実した内容の研究協議会になりましたこと、大変嬉しく思いますとともに、開催準備から当日の運営全般にご尽力いただきました実行委員会の皆様、会場校として授業を公開していただきましたいわき市立玉川中学校の皆様に深く感謝申し上げます。

また、保健体育ノート（福島県版）の編集につきましては、7月13日に第1回編集会議を開催しました。専門部副部長兼研究推進委員長の郡山市立宮城中学校長 宗像 克典 先生をはじめ、6支部の編集委員の先生方にご出席いただき、編集の基本方針に基づき、編集内容や方法を検討し、編集作業を進めて次年度の改訂版が完成しました。各支部・学校におかれましては、福島県版の保健体育ノートを採用され、授業の充実にご活用いただきますよう、お願いいたします。

次年度からは県研究協議会が各教科ごとの分散開催になり、「変化の年」になりますが、今後も充実した活動になりますようご理解ご協力をお願いし、あいさつといたします。

令和5年度県中教研研究協議会（いわき大会）については、県中教研発行の「研究集録」をご覧ください。

「保健体育ノート」福島県版について

「保健体育ノート」福島県版は、学習指導要領の趣旨と福島県の先生や生徒の声を反映して編集しています。日常生活に役立つ読み物や、福島県や東北地方の資料を数多く掲載し、非常に充実した内容になっています。また、オリンピックに出場した福島県ゆかりのアスリートの紹介やオリンピックの豆知識など、生徒が関心を持てる内容になっています。

今後とも採用をお願いいたします。

令和6年度の研究推進 について

1 研究主題

「体育や保健の見方・考え方を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む指導はどうすればよいか。」

○ 令和6年度副主題

「自他の健康課題に気づき、知識を活用して正しく判断し、意思決定と行動選択ができる指導計画や学習過程の工夫」（保健分野）

2 令和5年度の研究成果と課題

令和5年度は体育分野において、運動課題の解決を目指す協働的な学習活動の工夫と学習評価の改善について研究を深めた。

各支部とも多くの学校で、既習事項や動きの確認のための動画視聴、学級やグループ内における他者との意見の共有など、ICT機器を積極的に活用した取組が多く見られた。

ICT機器を活用することにより、生徒が自らの課題や仲間の課題を明確にしたり、仲間との協働的な学習を効率よく進めたりすることができ、より効果的な学習指導ができたのではないかと考えられる。また、評価においても資料の蓄積等が容易にでき、生徒の学習状況を正確に把握することが可能となり、学習履歴を活用した評価、及び評価を活用した指導につながっていると思われる。

課題としては、運動量を確保しつつ、授業のねらいに迫るための学習指導について、ICT機器の活用をはじめ、その他の指導方法についても吟味し工夫していくことがあげられる。

3 令和6年度の研究副主題について

次年度は保健分野において、自他の健康課題に気づき、身に付けた知識を活用して正しく判断し、意思決定と行動選択ができる資質・能力を育成するための指導計画や学習過程

について研究を進めていく。

保健分野では、生徒が保健の見方・考え方を働かせて、課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することが大切である。健康に関する課題は一人一人に違いがあり、現在及び将来の生活における健康に関する課題に直面した際、様々な解決方法の中から適切な方法を選択し、課題を解決していくことができる力を育成していくことが重要である。このため、指導に当たっては生徒の興味・関心を高めたり思考を深めたりする発問の工夫や日常生活に関連が深い教材等の活用、実験や実習、ICTの活用、保健・医療機関や養護教諭等との連携・協力を図るなど、多様な指導方法を工夫していくことが求められる。

4 令和6年度の研究の内容と方法

(1) 研究内容

- ア 自己を見つめるとともに自他の健康課題に気づくことができる指導の工夫について
- イ 既習事項の活用と体育分野や他教科等との一層の関連を図り、科学的に思考、判断できる力を育成する指導の工夫について
- ウ 健康課題解決に向け、学んだことを実生活に生かし実践できる指導の工夫について

(2) 研究方法

- ア 主題研修会、主題研修報告会を通して、副主題及び研究内容について共通理解を図り、各支部の実態に応じた研究を推進する。
- イ 支部ごとに研究内容の焦点化を図り、実態把握－仮説検証－考察の過程を踏まえて推進する。
- ウ 県研究協議会提出資料は、副主題にせまるために、どのように授業の改善を図ったか、指導の意図、生徒の活動や変容がわかるまとめ方とする。

県大会を東西しらかわ支部で 迎えるにあたって

県中教研保健体育部 東西しらかわ支部長
西郷村立西郷第一中学校長 土屋 好二

令和6年度は、研究主題「体育や保健の見方・考え方を働かせ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む指導はどうすればよいか。」研究副主題「自他の健康課題に気づき、知識を活用して正しく判断し、意思決定と行動選択ができる指導計画や学習過程の工夫」（保健分野）を受けて研究に取り組んでまいります。

東西しらかわ支部は、18校の中学校から成り立っており、ほとんどの学校で保健体育科教員が中教研会員としてお互いに連携・協力しながら研究にあたっております。それぞれの学校規模等実態は異なりますが、子どもたちの健やかな心身の発達や豊かなスポーツライフの実現のための指導力向上等を目指しているところです。

特に、令和5年度は、研究副主題「運動課題の解決を目指す協働的な学習活動の工夫と学習評価の改善」（体育分野）を受け、共通内容である「既習事項等を活用しながら仲間と共に課題解決に取り組む工夫」について各学校の実践例を持ち寄り指導助言のもと研鑽にあたりました。また、秋の研修会では、次年度の県大会を見据え、保健分野での模擬授業を展開するとともに小グループでのディスカッションを交えながら研修を深めました。次年度への参考となる有意義な研修となりました。また、会員相互が積極的に意見を出し合うなど和やかな雰囲気のもと研修会が開催されたことも収穫のひとつでした。

いよいよ、次年度は本支部での県大会を迎えます。研究主題3年目の集大成として保健分野での実践となります。全会員で協力しながら、準備を進めてまいりたいと思います。保健体育科会員のみなさまが実り多い県大会となるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

～令和6年度会場学校紹介～

棚倉町立棚倉中学校長 川上 一美

本校は、福島県中通りの南部、東白川郡棚倉町の中心に位置し、JR水郡線と国道118号線に挟まれた丘陵地にあります。東には阿武隈山地が連なり、西には久慈川が流れ、四季を通して温暖な自然豊かな環境で学校生活を送ることができます。また、校地は棚倉城跡に面しており、棚倉城の石垣を一望することができます。昭和46年町内の棚倉中学校・社川中学校・高野中学校・近津中学校の4校を統合し棚倉中学校として創立しました。卒業生は11,915名を超え、各分野で活躍しています。県内唯一のホッケー部を含め常設13部、特設4部が活動しています。現在の生徒数は、402名（1年：5学級、2年：4学級、3年4学級、特別支援3学級）の中規模校です。

本校では、学校目標の「未来を見つめ、自ら考え行動できる生徒」を達成するために、学校理念の「自主貢献」、生徒会スローガン「凡事徹底」を地域・保護者・生徒・教員が一丸となって実践しています。また、「自分の良さを伸ばし、『なりたい自分』の実現に向けてチャレンジする生徒の育成」を研究主題として、棚倉町の教育の基盤である「キャリア教育」に取り組んでおり、今年度は、3年計画の最終年として「生涯の学びを支える自己マネジメントの育成」を柱に、特別活動を要に教科や総合的な学習の時間などを通して、これからの時代に必要な資質・能力の育成を図っています。

保健体育科では、保健体育の授業や体育的行事を通して「ICTや協働的・対話的活動を活用し、自他の健康課題を積極的に解決できる能力の育成」に取り組んでいます。今回の県大会においても、中教研の研究主題や副主題と本校及び保健体育科の取り組みを連携させ、生徒の健康の保持増進につながるような授業を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度保健体育部組織

| 支部名 | 支部保体部長氏名 | 部長所属校 | 庶務担当者氏名 | 庶務所属校 | 学校数 | 会員数 |
|-------------------|----------|-------|---------|-------|-----|-----|
| 福島 | ◎ 佐藤 力夫 | 川 俣 | 宍戸 啓光 | 福島一 | 23 | 39 |
| 伊達 | 佐藤 徳之 | 霊 山 | 遠藤 修治 | 霊 山 | 8 | 13 |
| 安達 | 久保寺 徹 | 大 玉 | 鈴木 直樹 | 東 和 | 11 | 26 |
| 郡山 | ○★宗像 克典 | 宮 城 | 齋藤 美佳 | 宮 城 | 26 | 26 |
| 岩瀬 | 高橋 英二 | 岩 瀬 | 佐藤 拓 | 岩 瀬 | 12 | 23 |
| 石川 | 板橋 敬史 | 玉 川 | 斑目 駿 | 石 川 | 5 | 10 |
| 田村 | 酒井 泰 | 船 引 | 吉田 茂樹 | 船 引 | 9 | 13 |
| 東西しらかわ | ○ 土屋 好二 | 西郷一 | 鈴木 亮太 | 西郷一 | 18 | 27 |
| 北会津 | 高橋 伸明 | 若松一 | 木村 仁根 | 若松一 | 14 | 23 |
| 耶麻 | 斎藤 一範 | 裏磐梯 | 古川 貴仁 | 裏磐梯 | 10 | 12 |
| 両沼 | 五十嵐真由美 | 坂 下 | 古川三枝子 | 新 鶴 | 9 | 6 |
| 南会津 | ○ 我妻雄比古 | 下 郷 | 高畑 裕司 | 下 郷 | 7 | 14 |
| 相双 | ○ 柳沼 敏文 | 広 野 | 三瓶 香織 | 石 神 | 20 | 37 |
| いわき | ○ 芦野 孝彦 | 内郷一 | 松岡 薫子 | 玉 川 | 38 | 55 |
| ◎部長 ○副部長 ★研究推進委員長 | | | | 合 計 | 210 | 324 |

県中教研保健体育部会事務局

・庶務：宍戸啓光（福一）

・総務：仁井田侑子（川俣）

・会計：阿部 縁（信夫）

令和5年度事業報告

- 5 / 11 県中教研総会・保健体育専門部会
※県中教研主題研修会
(福島市)
- 5 / 下旬 主題研修報告会
(各支部)
- 7 / 13 第1回ワークブック編集会議
(郡山市)
- 7 / 下旬 支部中教研研究協議会
(各支部)
- 8 / 下旬 第2回ワークブック編集会議
(各担当者間の通信制)
- 9 / 下旬 研究推進委員会 中止
(郡山市)
- 10 / 5 県研究協議会いわき大会
(いわき市立玉川中学校)
- 10 / 下旬 県研究協議会会津大会報告会
(各支部)
- 3 / 月上旬 保健体育部会部報発行
(事務局)

令和6年度事業計画(案) ※正式には5月に決定

- 5 / 10 県中教研総会・保健体育専門部会
※県中教研主題研修会
(福島市)
- 5 / 下旬 主題研修報告会
(各支部)
- 7 / 月上旬 第1回ワークブック編集会議
(郡山市)
- 7 / 下旬 支部中教研研究協議会
(各支部)
- 8 / 下旬 第2回ワークブック編集会議
(各担当者間の通信制)
- 9 / 下旬 研究推進委員会
(郡山市)
- 10 / 4 県研究協議会県中・県南大会
(棚倉町立棚倉中学校)
- 10 / 下旬 県研究協議会県中・県南大会報告会
(各支部)
- 3 / 月上旬 保健体育部会部報発行
(事務局)